

新型コロナウイルス感染症の影響による相談対応について

重点施策 1 こども・若者への支援	
取組	・子ども見守り強化アクションプランに基づく、関係機関との連携強化 ・ひとり親家庭の経済的不安に対する連携・支援 ・スクールカウンセラーによる不安・悩みのある児童・生徒への相談 ・新しい生活様式を踏まえたオンライン健康相談の開始 ・市内小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置（中学校区毎）し、関係機関との連携を促進
相談件数	減少傾向 ・スクールカウンセラー配置事業：(R3) 455 件⇒(R4. 11) 416 件 ・家庭児童相談実件数：(R3) 914 件⇒(R4. 11) 681 件 ・ひとり親家庭相談延件数：(R3) 2,047 件⇒(R4. 11) 1,311 件 学校教育における相談・家庭児童相談・ひとり親家庭相談ともに減少
こころの健康に関する内容	・家庭の経済状況に関する不安 ・自傷行為、精神疾患に関する相談（新型コロナウイルス感染症の影響はない）
重点施策 2 高齢者への支援	
取組	・ケアマネジャーや介護サービス事業所、民生委員等の地域支援者等との連携などによるアウトリーチの取組強化 ・感染対策を講じた通いの場の運営について、地域の百歳体操等の自主グループ活動への助言
相談件数	減少傾向 地域包括支援センター総合相談件数：(R3) 19,673 件⇒(R4. 11) 13,650 件
こころの健康に関する内容	・人との関わりが減ったことによる不安 ・介護負担の増大、家族の生活状況や健康状態が分からないことによる不安

重点施策３・４ 生活困窮者への支援と無職者・失業者への支援	
取組	・生活再建に向けた相談支援体制の強化 ・心理的に不安定な相談者への臨床心理士によるカウンセリング ・法テラス巡回相談の活用を含めた自立支援に向けた取組 ・重層的支援体制の推進
相談件数	減少傾向 ・自立相談支援事業：(R3)982件⇒(R4.11)457件 ・生活保護面接相談：(R3)139件⇒(R4.11)93件 解雇失業、収入減等による相談件数、給付金の申請等は減少
こころの健康に関する内容	解雇失業、収入減による不安はあるものの、具体的な支援について検討することで解消される場合が多い。
重点施策５ 働く人への支援	
取組	・関係課と連携を図るなか就労相談・生活相談を一体的に実施し、複合的な要因を抱える相談者の支援 ・臨床心理士による就労者・就労希望者のメンタルヘルスケアを実施 ・不眠症状に着目したうつ啓発
相談件数	減少傾向 ・就労安定推進員による相談：(R3)94件⇒(R4.11)91件 ・若者仕事悩み相談：(R3)8件⇒(R4.11)4件 就労困難者およびその親族からの就労にかかる相談は減っている。
こころの健康に関する内容	・以前からの相談者が大半であり、新型コロナウイルス感染症の影響による相談者はなし。 ・心理的に不安定な相談者が多く、必要であれば関係課と連携しながら支援している。

《今後の方針》

新型コロナウイルス感染症の影響により、相談件数は令和２年から３年度にかけて増加していたものの、令和４年度には減少傾向に転じている。しかし、近年の経済状況により、経済的な不安から精神的不安が発生する可能性があるため、従来の取組を継続するなかで、相談に応じていく。